

# 京都府初の米軍基地・ Xバンドレーダーの 配備は撤回を



日米両政府は2月26日に、米軍のミサイル追尾の高性能レーダー「Xバンドレーダー」を、京丹後市の航空自衛隊経ヶ岬分屯地に配備すると発表しました。

## レーダー配備の目的は アメリカ本土のため 知事は「受け入れはしない」と態度表明を！

2月の定例議会・予算委員会の知事  
総括質疑で日本共産党の成宮議員は、  
米国防務長官が発言しているように日本  
国民を守るためではなく、アメリカ本  
土防衛のためのものであると指摘し、  
京都府知事として「受け入れはしない」  
と現時点で態度を明確にすべきとた  
だしました。

「Xバンドレーダーで自衛隊も情報を共  
有する」ことができると答えました。  
党議員は、この発言は憲法が禁止し  
ている、アメリカと日本の自衛隊が  
いっしょに戦うという集団的自衛権の  
行使につながる可能性を示したもので  
あり、北朝鮮の軍事的対応に対して軍  
事的に事を構えることは、事態を一層  
悪くすると主張しました。

## 不安・疑問にまともな答えず 頭ごなしの計画を推進

3月22日に防衛省の佐藤政務官が、Xバンド  
レーダーの経ヶ岬配備への協力要請に京都府庁  
を訪れ、山田知事と会談しました。

この1週間前の3月15日、米のヘーゲル国務  
長官は、新たに14基の地上配備型迎撃ミサイル  
を配備すると記者会見で述べ、日本で青森県に  
次ぐ経ヶ岬への高性能Xバンドレーダーの配備  
計画を強調し、数か月以内に実現するとの見通  
しも示していました。

現地では「いつどこで正式の決定があったの  
か」「環境や人体への影響、漁業への影響は」「敵  
に攻撃される標的にならないか」「米軍が来た場

合の事件や事故の  
対応や補償は」など  
の不安や怒りの声  
が噴出、説明会では  
「防衛上の問題」と  
あいまいな説明に  
終始しています。

日本共産党京都

府会議員団は府委員会と京丹後市議団との連名  
で「声明」を発表し、府への要請を行いました。  
要請には、倉林明子参議院選挙区予定候補も同  
席しました。



知事に要請する議員団



弾道ミサイル防衛に特化した特殊なレーダー。基地の上空には飛行禁止区域が設定される。Xバンドレーダーは、イージス艦、PAC3などで構成されるミサイル防衛システムの中で機能し、ミサイルの航跡、軌道計算が行われる。米軍のXバンドレーダーは日本(現在、青森県つがる市の車力分屯地に配備)のほか、世界では公表されている限り、カタール、イスラエル、トルコに配備されている。